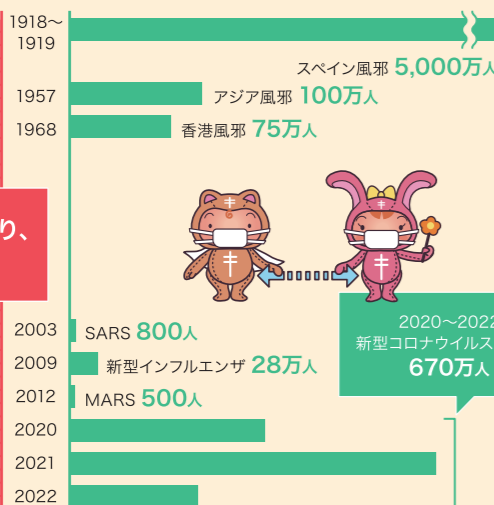


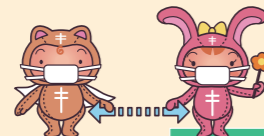
パンデミックと死亡者数

20世紀以降のパンデミックはすべて「呼吸器感染症」

結核



POINT!
毎年100万人以上の死亡者があり、結核のパンデミックが続いている



POINT!
次のパンデミックに備えて、呼吸器感染症への関心を持ち続けよう

▶ 感染症に関する最新情報はここからアクセスできます

感染症全般

厚生労働省HP▶



結核

結核研究所
疫学情報センター▶



結核予防会の活動

▶ 外国人の方へ For Foreigners

結核の知識
Knowledge on TB

HPはこちらからチェック!▶

https://www.jatahq.org/about_tb/qa#foreigner

対応言語 Available Languages

- ・英語 (English) ・中国語 (Chinese)
- ・韓国語 (Korean)
- ・インドネシア語 (Indonesian)
- ・モンゴル語 (Mongolian)
- ・ポルトガル語 (Portuguese)
- ・タガログ語 (Tagalog)
- ・ミャンマー語 (Burmese)
- ・ベトナム語 (Vietnamese)
- ・ロシア語 (Russian)
- ・スペイン語 (Spanish)
- ・ヒンディー語 (Hindi)
- ・ネパール語 (Nepali) ・タイ語 (Thai)

外国人結核電話相談

Telephone Consultation Service

TEL 03-3292-1219

問い合わせ時間 毎週火曜 (Tuesday only)
10:00 -12:00 / 13:00 -15:00

対応言語 Available Languages

- ・英語 (English) ・中国語 (Chinese)
- ・ベトナム語 (Vietnamese)
- ・ミャンマー語 (Burmese)
- ・ネパール語 (Nepali)
- ・韓国語 (Korean) ・タガログ語 (Tagalog)
- ・インドネシア語 (Indonesian)

予約制

▶ 複十字シール運動

DOUBLE-BARRED CROSS SEALS CAMPAIGN

8月1日 ~ 12月31日

結核予防会では、「結核のない世界」をつくるため、複十字シール運動による募金活動を実施しています。収益金は、結核予防の普及啓発活動、開発途上国への結核対策支援に活用しています。

複十字シール募金にご協力ください
Your donation is welcome.

結核予防会 寄附

検索

フリーダイヤル
0120-416864

※募金は、運動期間外でも受け付けています。



このパンフレットについてのお問い合わせは
こちらまでお願いいたします。

〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町 1-3-12
公益財団法人結核予防会 普及広報課
TEL 03-3292-9288
e-mail: fukyu_hq@jata.or.jp

このパンフレットは複十字シール募金で作られています。



たすけあインコ

正しく知ろう

結核の常識

「昔の病気」ではないよ

結核・呼吸器感染症予防週間

9/24 >> 9/30



シールぼうや
複十字シール運動
イメージキャラクター

結核予防週間から

「結核・呼吸器感染症予防週間」へ

2021年に世界でコロナと結核で亡くなった人の数を見てみましょう。コロナは360万人(1日9,900人)、結核は160万人(1日4,400人)でした。コロナが世界で流行したのはここ3年間ですが、毎年100万人を超える人が結核で命を落としています。毎年、結核のパンデミック(世界的大流行)が続いているのです。

コロナも結核も同じ呼吸器感染症です。20世紀に入ってからパンデミックは、1918年のスペイン風邪に始まり、アジア風邪(1957)、香港風邪(1968)、SARS(2003)、新型インフルエンザ(2009)、MARS(2012)と、すべてが呼吸器感染症でした。空気感染によって広がる呼吸器感染症はパンデミックを起こしやすい感染症であり、今後も繰り返されることが予想されます。

コロナ禍の中、私たちは「呼吸器感染症はマスクなどの個人予防とともに、三密(密閉、密集、密接)を避けるなど社会全体で予防すべき疾患」であることを学びました。

次のパンデミックへの備えとして大切なことは、私たち一人ひとりが感染症への関心を持ち続けることです。そのため、今年から結核予防週間の対象を呼吸器感染症へ広げることになりました。このパンフレットを通して、結核と呼吸器感染症へ目を向けていただければ幸いです。

正しく理解しよう



公益財団法人
結核予防会
JATA
Japan Anti-Tuberculosis Association



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

START!

1 結核とはどんな病気?

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気です。最初は風邪に似た症状で始まりますが、下記のいずれかにあてはまる場合には早めに受診しましょう。



注意! タンのからむ咳・微熱・身体のだるさが2週間以上続いている



? 結核になりやすい人は?

- 喫煙習慣がある人
- 結核高蔓延国から来た外国出生者
- HIV感染や免疫の弱い人
- 糖尿病の人
- 人工透析を受けている人
- ステロイドホルモンを使用している人
- 胃潰瘍、胃の手術をした人

こんな症状にも注意!

- 体重が減ってきた
- なんとなく食欲がない
- 近頃、寝汗をかいている

特に高齢者は、症状が出なくても毎年、胸部X線検査を受けましょう



今でも1日に28人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている日本の重大な感染症です。

このパンフレットの中で使われているデータは、国内は「公益財団法人結核予防会結核研究所 疫学情報センター(https://jata-ekigaku.jp/)」、世界は「Global Tuberculosis Report 2023」と「WHO ファクトシート」に基づきます。

2 結核は感染するの?

菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」といっしょに、結核菌が空气中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで人から人にうつります。これを「空気感染」といいます。



- 1 感染してもすべての人が発病するわけではありません。健康であれば、多くは免疫の働きによって結核菌を抑え込んでしまいます。
- 2 加齢や病気などで免疫力が落ちると、抑え込まれていた結核菌が再び活動をはじめ、発病することがあります。
- 3 感染しても発病していない潜在性結核感染症の人は、結核の薬を3カ月から6カ月間飲むことで発病を予防できます。

正しく知ってしっかり予防しよう! シールぼうやの結核講座



3 結核は予防できるの?

健康的な生活が免疫力を高め、結核の予防につながります。また、早く見つけることが重症化を防ぎ、周囲への感染を予防します。症状がなくても、定期的に健診を受けましょう。

- 1 適度な運動
- 2 十分な睡眠
- 3 バランスの良い食事
- 4 タバコを吸わない
- 5 定期的な健診

POINT!

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、予防にはBCG接種が有効です。市町村からの案内に従い生後5カ月から8カ月の間に接種してください。



4 結核は治せるの?

結核と診断されても、複数の薬を6カ月から9カ月間毎日きちんと飲めば治ります。しかし、症状がなくなったからといって治療の途中で服薬をやめてはいけません。菌が抵抗力をつけ、薬が効かない結核菌に変わる危険性があります。

- 1 治療が確実に行われるよう、入院中も退院後も医療機関と保健所が協力して服薬を見守ります。これを日本版DOTS(ドッツ・直接服薬確認療法)といいます。
- 2 結核の治療費用は、届け出をすることで公的負担が受けられます。治療を含め結核に関するご心配については近くの保健所にご相談ください。



5 日本と世界の結核

日本の結核の現状

日本では、今でも1年間に1万人以上結核を発症しています。

新登録患者数(※1)	10,235人
罹患率(※2)	8.2
死亡者数	1,664人
死亡率(※3)	1.4

「昔の病気」ではないんだね

※1 1年間で新たに結核を発病し登録された人の数
※2 新登録患者数を人口10万対で示した数字
※3 人口10万対で示した数字

高齢者の結核

結核を発病した人の約4割が80歳以上の高齢者です。



外国生まれの患者の結核

結核を発病した人の約1割が外国生まれの患者です。20~29歳では7割が外国生まれです。



世界の結核の現状

世界では、総人口の約4分の1が感染しています。

新たな発病者数	1,060万人
多剤耐性結核またはリファンピシン耐性結核患者数	41万人
死亡者数	130万人

重複感染

結核はHIV感染者の大きな死因の1つです。

多剤耐性結核

薬が効かない多剤耐性結核が問題となっています。多剤耐性結核患者からの感染や服薬を中断することによって発生します。

低・中所得国に多く発生

結核患者の多数は低・中所得国から発見されています。

みんなで正しく知ろう

